

## JENESYS 日本・インドネシア多文化共生交流（招へいプログラム）の記録

### 1. プログラム概要

#### 【目的・概要】

インドネシアのイスラム青年8名が11月11日から18日までの間、日本の伝統文化や歴史、宗教などに関する講義や視察、関係者との意見交換を通じ、日本への関心を高め、平和や多文化共生に対する意識を醸成することを主目的として訪日しました。一行は東京都と長崎県を訪問し、参加者各々は所期の目的を達成し、SNS等を通じてプログラム中の体験や学び、訪問地の魅力を発信しました。

【参加者】インドネシアのイスラム団体及び国立イスラム大学に所属する大学生・社会人 合計8名

【訪問地】東京都8名、長崎県8名

#### 【日程】

##### ■ プレプログラム（オンライン事前学習）:

11月4日（火曜日） 【来日前オリエンテーション】

来日までの指定期間 【課題学習（動画配信）】「事前オリエンテーション」「ホームビジット体験」「南三陸町からのメッセージ」「日本文化理解（京都）」「広島ピースツアー」「ホストタウンの取り組み」「日本語」

##### ■ 招へいプログラム:

11月11日（火曜日） 成田国際空港より入国

【来日時オリエンテーション】

【視察】東京国立博物館

【視察】浅草

11月12日（水曜日） 【学校交流】関東国際高等学校

【テーマ関連講義】「日本におけるイスラム」

講師：早稲田大学大学院 アジア太平洋研究科 見市 建 教授

11月13日（木曜日） 東京都から長崎県へ移動

【視察】株式会社 FORTHEES

11月14日（金曜日） 【講義】被爆体験講話

話者：計屋 道夫 氏

【視察】長崎原爆資料館・平和公園

【表敬訪問】諫早市 大久保 潔重 市長

【講義】「諫早市紹介」

講師：諫早市 総務部 企画政策課 村田 誠 主任

【講義】「諫早市の防災対策」

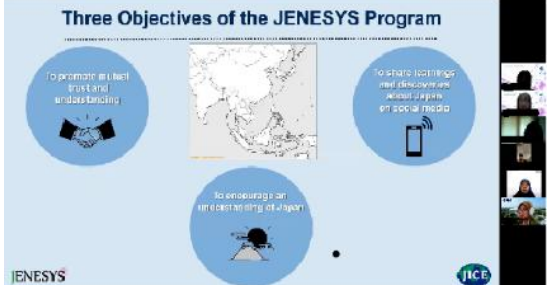
講師：諫早市 総務部 危機管理課

【ホストファミリー対面式・ホームステイ】諫早市

- 11 月 15 日（土曜日） 【ホームステイ】文化体験を含む
- 11 月 16 日（日曜日） 【ホームステイ・ホストファミリー歓送会】  
【ワークショップ】報告会準備（訪日成果のとりまとめ、SNS 発信状況等確認、帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）
- 11 月 17 日（月曜日） 長崎県から東京都へ移動  
【報告会】訪日成果・帰国後の活動計画発表
- 11 月 18 日（火曜日） 成田国際空港より出国

## 2. 記録写真

### プレプログラム（オンライン事前学習）

|                                                                                   |                                                                                    |
|-----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
|  |  |
| 11 月 4 日 【来日前オリエンテーション】                                                           | 11 月 4 日 【来日前オリエンテーション】                                                            |

### 招へいプログラム

|                                                                                     |                                                                                      |
|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
|  |  |
| 11 月 11 日 【視察】東京国立博物館                                                               | 11 月 12 日 【テーマ関連講義】<br>「日本におけるイスラム」                                                  |
|  |  |
| 11 月 12 日 【テーマ関連講義】<br>早稲田大学構内の見学                                                   | 11 月 13 日 【視察】株式会社 FORTHEES                                                          |

|                                                                                   |                                                                                    |
|-----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
|  |  |
| 11月14日【視察】長崎原爆資料館・平和公園                                                            | 11月14日【表敬訪問】諫早市 大久保 潔重 市長                                                          |
|  |  |
| 11月15日【ホームステイ】                                                                    | 11月18日【報告会】集合写真                                                                    |

### 3. 参加者の感想（抜粋）

#### ◆ 社会人

最も印象的だったのはホームステイでした。日本人と共に生活したことで、日本人の日常生活での規律正しさ、親切さ、コミュニケーションの取り方、互いに尊重しあう姿勢等を間近で知ることが出来ました。以前は、日本人は閉鎖的で、他人を気遣わない傾向にあるといった先入観を持っていましたが、ホストファミリーと生活したことで、その見方が大きく変わりました。ホストファミリーには大変温かく迎え入れて頂いて、また、私達の文化や宗教を配慮して様々な面できめ細かい心遣いを頂きました。相手への心の温かさ、思いやりには、文化の違いは関係ないことに気づかされました。心さえ通じ合えば、友情はどこでも育つということを深く実感し、今後も忘れないでいたいと思います。

#### ◆ 社会人

沢山の本当に素晴らしい経験を得ることができました。規律を重んじる日本の文化と清潔さについて自分も適応できるよう努めながら、日本文化を学びました。例えば、トイレではトイレットペーパーを直接便器に流したり、生活する空間を清潔に保ったり、移動中の道中では、車は割り込みをせず、順番を守り、整然と秩序正しく運転していることを学びました。また、道路だけでなく、どの場所においても、日本人は順番を守る習慣があり、私自身もそのように振舞わなければ恥ずかしいとすら思うようになり、このような経験を通じて日本の文化に適応できるようになりました。気候は、非常に快適で、肌寒くも感じましたが、とても素晴らしい経験となりました。風に吹かれて落ちる紅葉した葉は、とてもきれいでした。

## ◆ 社会人

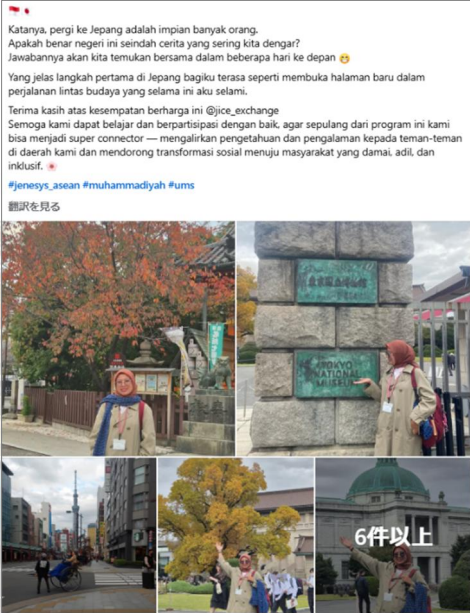
日本の伝統的なお茶の文化と抹茶の製造について学ぶことができて良かったです。この経験を通して、インドネシアでも日常生活でよく目にする抹茶は、長く複雑な工程で製造されていることが分かりました。また、日本家庭に滞在したことで、単なる旅行者としての視点ではなく、一般の日本人の視点から、日本、その文化、日本人の生活について深く知ることができました。

## 4. 受入れ側の感想（抜粋）

### ◆ 視察先関係者

先日は工場見学・抹茶と緑茶のいれ方体験にお越しいただき誠にありがとうございました。また、たくさんの温かいお言葉を頂戴し、心より感謝申し上げます。当日は皆様と直接お話をさせていただき、交流の機会をいただけましたこと、私どもにとりまして大変貴重でございました。今後ともご縁を大切にし、また機会がございましたらぜひお越しくださいませ。

## 5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

|                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                                                                                                                                 |                                                                             |
| <p>2025 年 11 月 11 日（Facebook）</p> <p>多くの人にとって日本に行くことは夢です。日本<br/>は私達が聞いてきた通りの美しい国なのでしょう<br/>か？その答えは数日のうちに分かるでしょう。確<br/>かなのは、このプログラムを通じて私のこれまでの<br/>多文化横断的な研究における新しいページが開<br/>かれることです。帰国後、私達は立派な両国の架<br/>け橋となって、日本で得た知識と経験を周りの<br/>人々に伝え、私たちの社会を平和で公正で包摂的<br/>なものに変えていきたいと思います。</p> | <p>2025 年 11 月 11 日（Instagram）</p> <p>世界で最大級の都市である東京都。恐らく、世界<br/>で最も清潔でもあり、最高の公共交通機関や施設<br/>もあります。この最も進んだ、最も秩序正しい大<br/>都市には、実は多様な文化が根強く残っているこ<br/>とを知りました。</p> |

|                                                                                                                         |                                                                                         |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
|                                        |       |
| <p>2025 年 11 月 11 日 (Instagram)</p> <p>浅草では、仏教と神道が共存していることを学びました。お寺と神社は並んで建てられていて、大地震や第二次世界大戦の空襲にも耐えて残っている建物もありました。</p> | <p>2025 年 11 月 21 日 (在インドネシア日本国大使館のウェブサイト)</p> <p>「JENESYS によるイスラム社会団体の学生・若手実務家の訪日」</p> |

## 6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表（抜粋）

訪問地：東京都、長崎県 1 グループ発表

## 【成果の発表】

### ◆ 訪日全般の学び

日本では、あらゆる所で先端技術が駆使され秩序正しく効率的に生活でき、どの年代も自立し自分のことは自身で行う、日本人は正直で率直で相手との意思疎通が上手くいく、非常に衛生的、大変規律正しい、平和を重んじることを実際に見て学ぶことができました。

### ◆ 「多文化共生」の学び

日本では、お寺と神社が同じ敷地にある等、宗教について寛容で、独特な多文化共生が見られる、クリスマス等に見られるように異文化が受け入れられている、それぞれの地方で独自の文化があるということを学びました。

## 【アクション・プラン】

- 本プログラムでの経験を元に、グループ全体で、今年 11 月下旬（プレ・イベントとして）及び来

年1月初旬（メイン・イベントとして）に、それぞれムザムザマ・ダルル・ウルム・ジョンバン・イスラム寄宿塾（東ジャワ州）及びイスティクラル・モスク（ジャカルタ）において、「インドネシア・日本友好デー」を開催します。

- ・ 日本での多文化共生について紹介することを目的とし、プレ・イベントでは約200人、メイン・イベントでは約100人の学生、一般の人々を対象として、日本について、JENESYS プログラムに関する写真、ビデオ等も用いてプレゼンテーション、日本に関するクイズ・ゲーム、日本での礼儀作法等に関するデモンストレーション、双方向のディスカッション等を行います。

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）